2. ホスピス緩和ケア週間

安部 奈津子　永谷 貴美
（日本ホスピス緩和ケア協会 事務局）

日本ホスピス緩和ケア協会では，「世界ホスピス緩和ケアデー（World Hospice and Palliative Care Day）」を最終日とした１週間（2016年度は10月２日〜８日）を「ホスピス緩和ケア週間」とし，ポスターの掲示およびセミナーや見学会の実施などを通して，緩和ケアの啓発普及活動に取り組んでいる。第11回目を迎えた本年も ポスター・チラシ（**図1**）を作成し，当協会の会員をはじめ，がん診療連携拠点病院，日本緩和医療学会会員へ，また今年度から日本死の臨床研究会も本企画に参加することとなり，同研究会会員にも案内した。

全国の関係者に，緩和ケアの普及啓発を目的としたプログラムの開催を呼びかけたところ，124施設から企画登録があった（**図2**）。企画内容としては，講演会，パネル展示などを通して緩和ケアの知識を提供するもの，相談コーナーや茶話会など話すこと・聴くことに重きを置いたもの，またコンサートや演劇などを楽しみながら緩和ケアへの理解を深めてもらうものなど，合計270の企画が寄せられた（**表1**）。ポスターのメッセージ「つないで，ささえる」に合わせ，外来や地域の診療所，訪問看護ステーションとの連携に関するプログラムも多かった。企画への参加者の内訳は**表1**に示す通りで，市民や医療福祉関係者など7,000名を超えた（展示会の参加者は含まず）。企画を実施した施設からは，「入院中の患者さんも活動に参加し，飾りつけを手伝っていただいた」「情報交換や連携強化の必要性を考える良い機会となった」などの報告が寄せられた（**図3**）。

2017年度の世界ホスピス緩和ケアデーは，10月14日となっており，10月８日〜14日をホスピス緩和ケア週間として実施を予定している。

図１　2016年度ポスター・チラシ

北海道	9
東北	10
関東甲信越	31
東海北陸	20
近畿	12
中国	14
四国	6
九州	22
合計	124

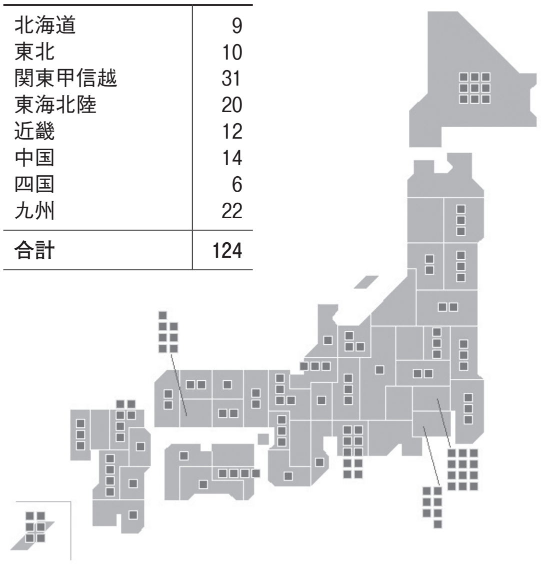

図２　各地域の企画登録状況

表 1　企画内容と参加者内訳

参加施設種別		企画内容 ※1つの登録企画内で複数の企画開催有		参加者内訳
1. 協会会員	81	①一般市民向けの講演会など	56	一般市民／患者(入院・外来)／家族／遺族／学生(看護・薬学生)／教員／医師／看護師／看護助手／薬剤師／臨床心理士／ソーシャルワーカー／カウンセラー／理学療法士／作業療法士／放射線技師／管理栄養士／ケアマネジャー／歯科医師／歯科　衛生士／音楽療法士／訪問看護師／保健師／介護福祉士／ヘルパー／事務員／牧師・僧侶／鍼灸師／ボランティア／その他
(内 拠点病院 30)		②医療従事者向けの研究会など	10	
緩和ケア病棟	70	③コンサート・演劇等	27	
緩和ケアチーム	2	④緩和ケア関連のパネル展示	35	
一般病院	5	⑤相談コーナーの設置	36	
診療所	2	⑥チラシ・パンフレットの配布	36	
準会員・賛助会員	2	⑦緩和ケア病棟見学会	18	
2. 非会員	43	⑧体験・試食コーナーなどの設置	32	
がん診療連携拠点病院	11	⑨茶話会・カフェ	8	
日本緩和医療学会会員	11	⑩ＤＶＤ・動画の上映	8	
学会会員＋拠点病院	6	⑪遺族会・懇親会など	4	
学会会員＋研究会会員*	5			
拠点病院＋学会＋研究会会員	6			
不明(無記入)	4			
合計　124 (*研究会：日本死の臨床研究会)		合計　270		合計　7,233 (展示会来場者は含まず)

▲在宅緩和ケアネットワーク研究会
(北海道：緩和ケアクリニック・恵庭)

▲ホスピスボランティア活動報告
(福島県：坪井病院)

▲市民公開講座
(千葉県：辻仲病院柏の葉)

▲バルーンアート
(神奈川県：神奈川県立がんセンター)

▲緩和デイケア体験
(愛知県：愛知県がんセンター愛知病院)

▲まちかどがん相談
(大阪府：ベルランド総合病院)

▲展示コーナー
(岡山県：岡山大学病院)

▲医療従事者対象の講演会
(高知県：細木病院)

▲オカリナコンサート
(熊本県：荒尾市民病院)

図 3　催し物の実際（一部紹介）